

オープン・コム

Open Com

2016 No. 35



開放型病床をもつ開かれた病院として、
地域の先生方や住民の皆様とコミュニケーションを図り、
心かよう安心の医療を目指します。

院長ご挨拶	2
新病院紹介特集	3~7
8階小児科病棟のご紹介	3
8階産婦人科病棟のご紹介	4~5
8階乳腺外科病棟のご紹介	5
7階血液浄化センターのご紹介	6
7階リハビリテーション室のご紹介	7
健康管理センター通信	8
院内施設のご案内	9

トピックス	10~13
地域医療連絡会が開催されました	
「第1回フットケア・スキンケア検討会」開催報告	
ケア連携の会	
NICU 同窓会を開催しました	
『訪問します!! 健康講座』のご案内、開催報告	
世界糖尿病デー in JCHO 大阪病院 2015 開催	
みなさまの声 Open Win/d より	14
当病院の活動内容を掲載している記事	15~17
各種教室・公開講座・院内の公開講座	18~19



古くより四つ葉のクローバーは「見つけた人には幸運が訪れる」という言い伝えがあります。当院は患者さんや地域の皆様が幸せになるお手伝いができるよう四つ葉のクローバーの形をモチーフにしております。



ご挨拶

JCHO 大阪病院 院長 山崎 芳郎

公設公営の独立行政法人 地域医療機能推進機構 (Japan Community Healthcare Organization : JCHO) 大阪病院は、2014年4月に旧大阪厚生年金病院が改組され、より公的な性格を有する病院として新たな道程を歩み始めました。この度広報誌オープン・コム2016年度第35号を刊行するに際し一言ご挨拶申し上げます。

組織移行から2年を経ましたが、「民から官」への移行に伴う「みなし公務員」としての就業規則や倫理規定の改定から派生する一種のアレルギー反応の存在は、院内外を通じて未だ完全には払拭出来ない状況です。しかし、新組織の理念「全国ネット JCHO は地域の住民・行政・関係機関と連携し、安心して暮らせる地域づくりに貢献します」は院内外に漸次浸透してきており、新病院のグランドオープンも相まって全職員が上下一丸となり、急性期医療（5疾病4事業）の拡充と地域連携推進を再加速させる心意気を十二分に感じておりますのでご期待下さい。

さて、2013年春に始まった旧駐車場解体跡地への免震杭打ちを基盤とする地上13階・地下1階からなる免震構造の新病院建設工事も概ね順調に進捗し、昨年5月7日に開院を迎え、その後旧病院を解体し跡地に新駐車場（200台以上収容）を整備する工事も今年3月で完了しました。厚労省認可から約5年間にわたり、患者さんには通院の不便さを、また、近隣住民の皆様には騒音・粉塵などで多大なご迷惑をおかけしたこと、この誌面をお借りして改めてお詫び申し上げます。新設の強度変調放射線治療（IMRT）装置や血管内治療（ハイブリッド）手術室をはじめ高度医療機器を用いた多角的医療の質向上ならびに、6人部屋の解消やデイルーム増設といった療養環境面の改善により、ご利用頂いた患者（特に入院患者）さんから概ね満足とのご意見を沢山いただいております、ホッと胸をなでおろしている次第です。

2016年度診療報酬改定率が全体で▲0.84%と決定し、消費税 up に伴う課税仕入れ高騰も重なり、病院を取り巻く環境は一層厳しくなることが予測されますが、干支の申年にちなんで伸び続ける大阪病院をモットーに職員一同日々歩み続ける所存ですので、各診療機関の皆様には、今後も引き続きご支援・ご鞭撻のほど切にお願い申し上げます。

この広報誌には、現時点ならびに将来の各診療科や各部門の具体的な活動内容や特色が掲載されておりますが、ご覧いただいた皆様におかれましては、是非とも忌憚のないご意見をいただければ幸甚と考えています。

8階 小児科病棟のご紹介

小児科診療部長 難波 範行

施設紹介

『こころがすこしホッとする』ホスピタルアートが描かれた小児科病棟



新病院では、8階フロア全体が女性・子どもフロアになりました。小児科は8階西病棟で、ベッド数は一般病床22床、NICU 9床、GCU 6床です。昨年末、「特定非営利活動法人 アーツプロジェクト」の方々に‘季節のこころとおもい’を届けるをモチーフにした素敵な絵を描いていただき、一気に小児科病棟らしくなりました。入院した患者さんも少しだけ病気のことを忘れて楽しんでいただけるのではないのでしょうか。

特色

内分泌、成長障害、骨系統疾患の診療に力を入れています。

入院患者さんの多くは、近隣の医療機関からご紹介いただいた呼吸器・消化器の感染症、喘息などの患者さん、および新生児の患者さんですが、当科として力を入れている内分泌、成長障害、骨系統疾患の患者さん、神経・筋疾患の患者さん、川崎病の患者さんも常に数名、検査・治療のために入院されています。また、当院で出産され、初めて赤ちゃんを育てているお母さんを対象とした親子の絆づくりプログラム「赤ちゃんがきた！」やNICUに入院された患者さんのNICU同窓会などの《育児支援》も積極的に行っています。



NICU



患者さん、ご家族の方へ

わかりやすい説明、丁寧な診察・治療を心がけています。
お子さんの病気のこと、成長・発達のことでご気になることがあれば何でも遠慮なくご相談ください。

かかりつけ医の先生へ

近隣の医療機関、当院内の小児医療に携わる診療科との連携を今後さらに緊密にしていきたいと考えています。
小児に関することは何でも気軽にご相談ください。



8階 産婦人科病棟のご紹介

産婦人科診療部長 筒井 建紀

8 階東病棟 母子医療センター

LDR

陣痛 分娩 回復まで
ずっと同じお部屋で過ごせる、
それがLDRです。5室完備。



病室

8 階南病棟 婦人科部門

Café room



A



B

8階 乳腺外科病棟のご紹介

乳腺・内分泌外科診療部長 塚本 文音

母子医療センター 特色

- 大阪西部地区の周産期を担う拠点病院として、現在年間約 600 件の分娩を取り扱っています。医学的適応に応じて、**無痛・和痛分娩**も行っています。
- 大阪産婦人科相互援助システム（OGCS）に参加し、母体搬送を受け入れています。
- 総合病院の長所を活かし、内科・外科など他科と連携し、合併症のある妊婦さんの分娩も取り扱っています。
- 「手ぶらで入院！」をコンセプトに、**入院中のアメニティーを充実**させています。
- 産後のお食事を女性に喜んでいただけるメニューにリニューアルしました。

婦人科部門 特色

- 良性疾病（子宮筋腫・子宮内膜症・卵巣腫瘍など）や、悪性疾病（子宮頸癌・子宮体癌・卵巣癌など）の手術、薬物療法を受ける患者さんのための病棟です。
- 良性疾病に対しては、内視鏡手術を第一選択としており、**腹腔鏡下子宮全摘術（TLH）や妊娠合併卵巣嚢腫に対する腹腔鏡下手術**なども積極的に行っています。また性器形態異常、例えば流産を繰り返す中隔子宮に対する子宮鏡下中隔切除術や、ロキタンスキー症候群に対する造腔術などにも対応しています。
- 良性疾病・悪性疾病のため手術が必要で、将来妊娠を希望する患者さんに対する手術・薬物療法も積極的に行っています。
- 卵巣腫瘍茎捻転・異所性妊娠などの緊急手術にも可能な限り対応しています。

Café room

ご面会のご家族・お友達とも、ゆっくり過ごしていただけます。

A 広々した病棟

お部屋はもちろん、廊下も広く、ゆったりした気持ちで入院生活を送れます。

B 緩和ケアも充実

リラックスしていただくため、アロマケアなどを用いたりしながら、緩和ケアをしています。患者さんにも好評です。

チーム医療で乳がん患者さんの治療にあたります

紹介

- 当院は専門的ながん診療機能を有する病院として大阪府がん診療拠点病院に指定されています。
- 乳腺外科病棟は、新病院 8 階の女性専用病棟にあり、旧病院に比べ快適さが格段に向上しています。

特色

- 主に乳がんに対する手術、薬物療法、放射線療法を受ける患者さんが入院されています。
- 乳房再建用エキスパンダー / インプラント実施施設として、日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会による認定を受けており、乳がん手術と同時に乳房再建が行えます。
- 必要に応じ、腋窩リンパ節郭清後などには、リハビリテーション科による手術後のリハビリテーション（がんリハビリテーション）が可能です。
- 医師以外にも乳がん看護認定看護師を中心とした看護スタッフによる患者さんへの身体的・心理的サポート、病棟専任薬剤師による患者さんに対する処方薬の説明など、多職種のスタッフが、安全にかつ生活機能、生活の質をできるだけ損なわないことを念頭において治療にかかわっています。
- 乳がんの治療中には骨転移による脊髄圧迫症候群、脳転移による頭蓋内圧亢進症、癌性心う液貯留など早期に診断・治療を行わねば生命を脅かす状態となりうる、がん救急と呼ばれる状況になることがあります。そのような場合でも、当院では整形外科、脳神経外科、循環器科、放射線科などの協力で速やかに早期からの集学的な対応が可能です。

今後も高度で安全な治療をより快適に提供できるよう努力してまいります。



7階 血液浄化センターのご紹介

内科腎臓担当部長 鈴木 朗



血液透析・腹膜透析いずれにも対応できる体制を整え、大阪市西部における中心的な血液浄化センターとして機能しています

紹介

- 当院血液浄化センターは20床のベッドを有し、腎臓内科医師6名、看護師11名(透析看護認定看護師1名)、臨床工学技士4名により運営されています。
- 2床は陰圧個室となっており、隔離を要する感染症症例にも対応可能です。
- ベッド間のスペースを十分確保し、またパーティションを設けることにより患者さんのプライバシーに配慮した構造になっています。
- 新病院ではセントラル透析液供給装置や透析用コンソールが一新され、日本透析医学会によるオンライン補充液の水質管理基準をクリアしたことにより、オンラインHDFが可能となりました。

透析困難症、透析アミロイドーシスを始め、難治性の皮膚掻痒症、レストレスレッグ症候群などにも効果が期待できます。

特色

- 月曜から土曜まで2クール制で稼働しており、新規導入に加えて、入院加療を要する血液透析患者を多数受け入れ可能であり、大阪市西部における中心的な血液浄化センターとして機能しています。
- 血漿交換(PE)、2重濾過血漿交換(DFPP)、LDLアフェレーシス、顆粒球除去療法(GCAP)、白血球除去療法(LCAP)などの特殊血液浄化療法にも対応しています。
- 腹膜透析の導入、維持管理も行っております。
- 当院泌尿器科では腎移植も行われており、当院で全ての腎代替療法に対応が可能です。
- 末期腎不全患者さんが治療法を選択する際には、当院外来において透析看護認定看護師から各療法の特徴が時間をかけて説明され、最適な治療法を選択できるように配慮されています。

7階 リハビリテーション室のご紹介

リハビリテーション科診療部長 二宮 晴夫

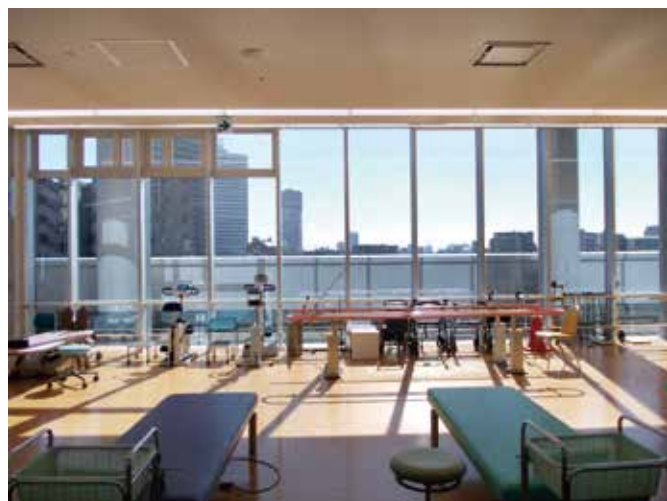
明るく広々とした
開放的な空間のリハビリテーション室

紹介

- リハビリテーション部門には、専任医師が2名、理学療法士が25名、作業療法士が3名、言語聴覚士が1名、義肢装具士が2名、健康運動指導士が1名在籍しています。
- リハビリテーション室内に医師診察室があり、診察と治療、訓練が常に同時に行なわれています。
- 義肢装具室では、各診療科からの依頼を受け、補装具・コルセット・義肢などの作製を行っています。
- 健康運動指導士は、検診・疾病予防指導を行っています。

特色

- 患者さんの失われた機能の早期改善・回復を目指し、一般病棟入院の患者さんだけでなくICUやSCUへも積極的に介入し、専門性の高い治療を行い、直接の自宅退院を視野に入れたリハビリテーションの提供に努めています。
- 各診療科からの依頼を受け、医師がリハビリテーションの処方を行い、各患者さんについて担当療法士が病棟看護チームと連携・カンファレンスを行っています。
- 各種資格取得並びに研修等に力を入れています。
 - ◆ 取得：心臓リハビリテーション指導士2名
呼吸療法認定士9名
 - ◆ 修了：がんのリハビリテーション研修17名
 がんのリハビリテーション領域において、緩和ケアチームや骨転移カンファレンス、がんサージカルボードへ療法士が参加しています。
- 心大血管疾患リハビリテーション領域では、外来心臓リハビリテーションを月曜から金曜まで毎日行なっています。



健康管理センター通信

当院の【二日ドック】では「ロコモ度テスト」と運動機能評価を行っています

加齢や運動不足などにより、骨、筋肉、関節などの運動器に障害が起こり、移動能力の低下した状態を「ロコモティブシンドローム」（略称：ロコモ、和名：運動器症候群）といいます。

ロコモは、「立つ」、「歩く」といった生活動作が次第に困難になり、自立機能の低下や、健康寿命の短縮を生じます。

当院二日ドックでは「ロコモ度テスト」*と運動機能の評価を行い、自立機能低下の早期発見に努めています。

また、測定結果より、健康運動指導士が個々に適した運動指導を行い、健康づくりのための運動・身体活動を総合的にサポートしています。

（健康運動指導士 田中 健毅）

* ロコモ度テストは「立ち上がりテスト」、「2ステップテスト」の2つの体力テストと、質問紙「ロコモ 25」の計3種のテストから成る。



立ち上がりテスト



2ステップテスト

健診メニュー

（料金は税込）

メニュー	実施日	検査内容	料金
一日ドック	月・火・金曜日		¥54,000
		肺がんドック	¥16,200
		骨密度検査	¥3,800
		腫瘍マーカー (CEA・CA19-9)	¥4,600
		ピロリ抗体検査	¥1,000
		脳ドック	¥43,200
二日ドック	水～木曜日	宿泊	リーガロイヤルホテル (ツインはお1人様 ¥95,000)
			¥97,200
		宿泊なし	ホテル NCB
			¥79,900
			¥72,100
		肺がんドック	¥16,200
		骨密度検査	¥3,800
		腫瘍マーカー (CEA・CA19-9)	¥4,600
脳ドック	火・金曜日	ピロリ抗体検査	¥1,000
		脳ドック	¥43,200
			¥64,800
シルバー 半日ドック	毎月 第1・3木曜日	胃カメラ選択	¥36,000
		ABC法選択	¥27,800
		オプション検査	(男性) 前立腺関連腫瘍マーカー
			(女性) 婦人科腫瘍マーカー
			¥2,000

ご予約・お申し込みについて

お電話もしくは下記医事課へ直接ご来院のうえ、ご希望日をお申し出ください（予約制）。

受付時間 平日 9:00 ~ 17:00

宿泊なしの二日ドックもあります

申し込み・問い合わせ先

JCHO 大阪病院 医事課

TEL 06-6441-5451

（内線 2144）

* 詳細については、当院HP <http://osaka.jcho.go.jp/> の「健診のご案内」および、院内配布パンフレット『人間ドックのご案内』でもご案内しています。

院内施設のご案内

施設名	場所	営業（開放）時間
 自然派レストランのだふじ	4 階 (南)	8:30～15:00 (モーニングタイム 8:30～10:00) (ランチタイム 10:00～15:00) 定休日：土・日・祝日・年末年始
 タリーズコーヒー TULLY'S COFFEE	1 階 (東)	平日：7:30～19:00 土・日・祝：8:00～18:00 年中無休
 ファミリーマート	1 階 (東)	24 時間営業・年中無休

ラウンジ・医療情報コーナー 当院を利用される患者さんのためのオープンスペースです。お気軽にご利用ください。

施設名	場所	営業（開放）時間
 ラウンジ（外来）	2 階 (南)	平日：8:30～18:00 閉鎖：土・日・祝日・年末年始
 医療情報コーナー	3 階 (南)	平日：8:30～18:00 閉鎖：土・日・祝日・年末年始 一般娯楽本、雑誌、闘病記、医療パンフレット、医療書があります。 (利用ルール等詳細は、コーナー内の案内をご覧ください)



地域医療連絡会が開催されました

2016年1月30日(土) リーガロイヤルホテルにおいて、平成27年度の地域医療連絡会が開催されました。

連絡会の前には、平成27年度第4回地域医療支援病院運営委員会及び地域医療研修委員会、開放型病床運営委員会が別室で開催され、外部委員の先生方より貴重なご意見を伺いました。

連絡会では、山崎芳郎院長より建替工事の最終章である旧病院解体後の新駐車場完成に伴うグランドオープンの時期について報告がありました。また、今年の干支である申を引用し、申に人を加えると伸びるという字になり、地域の先生方とともに伸びる年にしたいという思いを述べられました。学術講演会では、畑中信良がん診療部長より『がん診療連携とチーム医療』、難波範行小児科診療部長より『成長障害～診察の実際～』、鈴木朗腎臓担当部長より『多発性嚢胞腎(診療における新展開)』の講演が行われ、講演後の

質疑応答では地域の先生方より質問があり、講演に対する関心の深さが感じられました。その後、田中小百合看護部長から在宅支援診療所、訪問看護ステーションでの研修報告、認定看護師による新しい試み「訪問します!!健康講座」の活動報告、くらしと医療の相談窓口のご利用についての案内がありました。次に新任診療科部長紹介、富士武史副院長より地域の先生方からの緊急時のご依頼に対応できるよう救急(緊急)の受入体制について説明されました。その後懇親会へと進み、当院の医師と、地域の先生方との意見交換が和やかな中で行われました。

地域連携室は、これからも地域の医療機関と連携し、よりよい医療を提供できるよう、先生方との窓口として努めてまいりますので、今後ともご支援、ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(地域連携室 野島 啓恵)



「第1回フットケア・スキンケア検討会」開催報告



『診療科・職種のフィールドを越えて語ろう』をスローガンに2015年12月12日「第1回フットケア・スキンケア検討会」

を開催しました。検討会は2部構成で、第1部は当院で経験した3例の症例検討を行いました。第2部は講演会で、当院の皮膚科医から「高齢者のスキンケア対策」、循環器内科医から「救肢に一生を得る!心臓疾患と足病変」、理学療法士から「高齢者知っ得!

歩くための体づくり」というタイトルで3講演行いました。スローガンの如く、医師、看護師、義肢装具士、理学療法士、管理栄養士、臨床工学技士、介護福祉士、ケアマネージャーなど多職種84名の方々にご参加いただき、活発な意見交換ができた有意義な検討会となりました。高齢化社会に向け、増加する糖尿病性潰瘍・壊疽、重症下肢虚血の患者さんに対して、地域全体で力をあわせて取り組んでいくことがこれからの重要な課題と思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

(皮膚科診療部長 池上 隆太)



ケア連携の会

ケア連携の会は、今後の少子化・高齢化・多死の時代の到来に向けて、地域と施設とが顔の見える連携を深めるために、2013年3月23日に発足されました。主なメンバーは、看護部からは専門・認定看護師、退院調整看護師等、地域からはケアマネジャー・訪問看護師・ヘルパー等が参加しています。その内容は、参加メンバーで一事例を通じて意見交換を行い、トピックスとして最新の医療情報を紹介させていただいています。毎回、継続的な支援には地域との連携は不可欠であることが再認識され、患者様のQOLの維持・向上を図るために、もっとできることはないものかと参加者全員で検討しています。

今後も JCHO の理念に基づき、この会のテーマである「繋げようケアの力・広げようケアの輪・高めようケアの質」を合言葉に発展させていくことが使命だと考えています。

(前副看護部長 谷岡 美佐枝)



ケア連携の会 GWの様子

開催日	テーマ	参加者数
第1回 2013年 3月23日	褥瘡を保有する患者の地域連携について考える	37施設49名・当院23名
第2回 2013年 3月28日	独居のがん終末期患者のデスカンファレンス	2施設5名・当院14名
第3回 2013年11月29日	頻繁に救急受診を繰り返す認知症患者の地域連携を考える	25施設33名・当院23名
第4回 2014年 3月12日	誤嚥性肺炎のある寝たきり患者の体位変換について考える	33施設48名・当院30名
第5回 2014年 7月 7日	様々な課題を解決し患者・家族の希望を叶えるための多職種連携を考える	37施設57名・当院34名
第6回 2014年11月10日	インスリン自己注射の継続が必要な独居患者の地域連携を考える	29施設44名・当院34名
第7回 2015年10月 6日	家で過ごしたいと希望する末期がん患者を支えるための連携とは	30施設51名・当院28名

NICU 同窓会を開催しました

2015年10月25日に新病院移転後初となる第11回 NICU 同窓会が開催されました。昨年度に NICU に入院されていた7ヶ月から1歳7ヶ月の赤ちゃん38名とご家族64名、合計102名の方が参加されました。6階講堂にシートを敷き、楽しい触れ合い遊びを通し赤ちゃんの成長を共に喜び合いました。交流会ではお父

さん達が、出産・育児を頑張ったお母さんに改めて感謝されたり、家族間で当時の様子を語り合う場面がありました。

赤ちゃんにご家族の笑顔に参加したスタッフも励まされ、元気をもらった1日でした。

(8階西病棟副看護師長 福永 花子)



訪問します!! 健康講座のご案内

JCHO 大阪病院では、住民の皆さまや医療機関、介護施設の皆さまの、健康づくりのお手伝いとして、無料で訪問し健康講座を実施しています。ぜひご利用ください。

【対象】

福島区・此花区・西淀川区・北区など当院の近隣にお住まいの皆さまが所属される団体など。

【地域住民の皆さま】

健康講座についてのご相談やご希望があれば、お気軽にお声をかけてください。

【医療・介護従事者の皆さまへ】

当院の専門看護師・認定看護師を活用していただき、気軽に相談が出来る関係づくりを目指しています。日頃の看護ケアでの悩みを共有し、解決にむけて一緒に検討させていただければと考えております。また、最新の医療情報も提供していきたいと考えています。

分 野	内 容	分 野	内 容
感染管理	流行性ウイルス疾患対策 (ノロ・インフルエンザ) 結核対策 感染予防行動について	糖尿病看護	糖尿病について 妊娠糖尿病について 小児 2 型糖尿病の予防について インスリン注射の種類
母性看護	性教育・いのちの大切さ	がん看護	がん検診の推奨と自己検診指導について 抗がん剤治療・放射線治療中のケアについて がん治療と就労について がんによる痛みのコントロールについて 医療用麻薬について
小児救急看護	小児一次救命処置 子どもの事故防止 発熱と嘔吐症状のホームケア	脳卒中 リハビリテーション看護	脳卒中の予防と症状について 飲み込みや誤嚥について
集中ケア看護 救急看護	一次救命処置 家族が目の前で倒れた時の対応	老人看護	加齢に伴う機能低下の理解と疾患予防 機能維持のための工夫 認知症予防・転倒予防
透析看護	透析療法について		
皮膚 排泄ケア	褥瘡(とこすれ) 予防 ストーマケア・胃瘻のケア・ フットケア・失禁ケア		

お申し込み 地域医療機構 大阪病院(総務企画課 遠藤) TEL 06-6441-5451(代)

第 4 回『訪問します!! 健康講座』報告(開催:2015 年 9 月 29 日)

福島区保健福祉センターの取り組みのひとつ、介護予防地域健康講座『ハッピー☆あし活セミナー第2回目』にお招きいただき、福島区保健師の皆様とともにフットケア勉強会を開催させていただきました。内容は、『足を観察してみよう』『スキンケア』『簡単足運動』等、誰もが簡単にできる足の手入れについてレクチャーを

行いました。会場内は活気ある福島区民30名のパワーと笑顔でいっぱいになりました。区民の皆様からは「次回も参加したい」との声も多く、健康意識の高さに驚きました。今後も地域の病院・施設のニーズに応じた勉強会の企画に参加させていただきたいと思います。

(看護ケア推進室 中西 由香)



世界糖尿病デー in JCHO 大阪病院 2015 開催



国連は、インスリン発見者バンティングの誕生日である11月14日を『世界糖尿病デー』と定め、糖尿病の予防、治療、ケアに取り組むように加盟国に呼びかけています。

当院では、2015年11月9日の午後に、2階外来待合スペース(ラウンジ)にて、医師、看護師、栄養士、薬剤師、検査技師、歯科衛生士らから成る糖尿病チームで、手作りポスターの展示や各種相談をお受けするとともに、血糖値測定、体脂肪率測定、フットケアなどの体験コーナーを設けました。また、運動療法士による体操指導も実施しました。新病院になって初めてで少々不慣れな開催となりましたが、多くの方々にご来場いただくことができ、充実したイベントとなりました。(内科診療部長 宮田 哲)

I. 病院の理念・基本方針・

看護部の理念・看護部の方針

JCHO の理念

我ら全国ネットのJCHOは
地域の住民、行政、関係機関と連携し
地域医療の改革を進め安心して暮らせる地域づくりに貢献します

JCHO 大阪病院の理念

1. 高度で安全な医療を目指します。
2. 患者さんの立場に立って、心温まるケアに専念します。
3. 近隣のかかりつけ医と連携し、地域の医療と福祉を推進します。
4. 職員全員が働きやすい職場づくりをすすめます。

地域医療支援病院としての基本方針

1. 小児救急を含む24時間救急医療をおこなっています。
2. 母子医療センターとして妊娠・分娩と新生児・未熟児の医療に24時間体制で迅速かつ確実に対応します。
3. 各部位の癌に対して、内科的・外科的に積極的な集学的治療をおこなっています。
4. 内視鏡、内視鏡下手術などを用いた低侵襲かつ高度な治療とともに外来化学療法や緩和医療チームにも力を入れています。
5. 慢性疾患に対してもリハビリを含む集学的な治療体制を整え、患者教育にも熱心です。
6. 脊椎・四肢・視覚・皮膚などの疾患に対して、専門性の高い手術的治療を麻酔科、ICU、放射線科等とチームを組んでおこなっています。
7. 心筋梗塞・脳卒中などに対して、各診療科が協力して治療にあたります。
8. 生活習慣病の予防や癌の早期発見についても各診療科が協力して診療にあたります。
9. 各診療科での診療は地域や関連する診療所や病院との連携を大切におこなっています。

10. 地域の医療従事者と合同で医療の質の向上を目的とした研修会等をおこなっています。
11. 職員の子育て支援にも積極的に取り組んでいます。

看護部の理念

地域住民の健康で幸福な生活を支える看護

看護部の方針

1. 患者の生命の尊厳と権利を尊重し、生活の質を高める看護を実践します。
2. 看護の質的向上を図り、地域住民のニーズに応じた看護の提供をします。
3. 多職種と協働し、チーム医療の向上に努めます。
4. 看護職者として感性を磨き、創造性の高い看護の実践に努めます。
5. 自己啓発や看護研究活動を推進します。
6. 人を癒し人を活かす職場づくりに努めます。

II. 患者さんの権利と責務

患者さんの権利と責務

1. 患者さんは、誰でも当院でおこないうる最善の医療を平等に受ける権利があります。
2. 病名と治療方法など十分な説明を聞いた上で、患者さんは、自分の意思で治療を受け入れるかどうかを決めることができます。
3. 治療の途中でも、患者さんは、他の医師に意見(セカンドオピニオン)を求めることができます。
4. 患者さんの個人情報保護されます。又、病名や検査結果など必要とする情報は患者さんによる適切な手続き後にはいつでも求めることができます。
5. 全ての患者さんが適切な医療を受けていただく為に、当院の規定・規則を守り他の患者さんや病院職員の診療業務の支障となる迷惑行為を慎み、医療者と協力して療養する責務があります。

昨年6月から11月までの投書箱「みなさまの声」に寄せられたご意見は157件、患者相談窓口で直接対応したご意見等は115件、合計272件でした。その中の苦情及びご意見の一部を紹介します。

Q 私は本が大好きです。診察を待っている間に、情報コーナーから本を持ち出し、整形外科の待合で読んですぐに元にもどさせていただきます。できれば受付のボランティアの方が居て、本の貸し出しをして頂けたら嬉しいのですが。

A 新病院では、3階の医療情報コーナーが、オープン形式となりました。本の利用方法についての広報が徹底していなかった事、大変申し訳ございませんでした。医療情報コーナーでは、院内であれば貸出し手続きなしで本を院内の外来や病棟にお持ちいただくことができ、待合等でお読みいただけます。詳しい利用ルールについては、コーナー担当ボランティアスタッフにお聞きいただくか、利用案内、各本表紙に貼付されている蔵書シールをお読みくださるようお願い申し上げます。

Q テレビカードの案内には、1000円で1200分見られます。とありますが、実際は、1000分しか見られませんでした。

A 今回、患者様は、テレビカードをカードタイマーに挿入時「1000（度数）」と表示されたことで、「1000分（時間）しか視聴できない」と勘違いされたのではないかと推測されます。当病院のカードタイマーは「72秒毎に1度数ずつ減算」される仕組みとなっております。72秒（1度数）×1000度数＝72000秒「1200分（20時間）」視聴できるようになっております。念の為、他の床頭台でも確認を行いました。パンフレットの説明通り、テレビカード1枚（1000円）で1200分（20時間）視聴できることに間違いありませんでした。同じく床頭台にございます冷蔵庫の利用代金は「100度数（円）／24時間」に設定されており、ご予約された時点でテレビカードから先落し致します。又、ランドリー（洗濯1回200円、乾燥30分100円）もテレビカードでご利用いただけます。今後とも計画的に、ご利用くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

Q 女子トイレ（全ての階）にあるタオルペーパーの位置が悪すぎる。ペーパー横の手洗いを誰かが使用していたら使えない。もう少しずらしたところに設置し直すべきである。

A ペーパータオルが各トイレに1箇所しかなく利用者の皆様に大変ご迷惑をおかけしておりました。8月末に1、2、3階のトイレすべてにペーパータオルホルダーを増設いたしました。貴重なご意見をありがとうございました。

患者さんへのお願い

受診時のお願い

- ・診療科によって予約の患者さん限定の曜日があります（神経精神科、形成外科、泌尿器科、心臓血管外科）。ご受診の際は一度お問い合わせください。
- ・保険証をお持ちいただかなかった場合は、自費診療になります。後日（なるべく受診された月内に）、保険証と自費診療で支払った領収書をお持ちになって、保険確認窓口へお渡しください。保険診療で計算しなおします。
- ・当院では、紹介状をお持ちの患者さんの診察待ち時間をできるだけ少なくし、スムーズに受診していただくため、初診患者さんの診察予約を行っています。**予約の際にはかかりつけ医からの紹介状が必要です。**診察担当医の出張による休診日もありますので、できるだけ予約をしてご来院いただきますようお願いいたします。
- ・予約をされていない方は、紹介状をお持ちでも診療開始がかなり遅れることがありますので、ご了承くださいませようお願いいたします。
- ・当院での整形外科初診・再診の取り扱いについて

整形外科（リウマチ科・脊椎外科・スポーツ医学科を含む）の初診は、他の医療機関からの紹介患者さん限定とさせていただきます。過去に通院しておられた患者さんも治療が終了して次回の予約がない患者さんは初診となりますので、他の医療機関からの紹介・予約が必要となります。

受診ご希望の際は、まずかかりつけ医の先生にご相談いただき、先生を通じてご予約いただきますようお願いいたします。

なお、**再診も初診と同様にすべて予約制です。**診察室が予約の患者さんで常時ふさがっているため、紹介状をお持ちでも、診察や診察医師の手配ができませんのでご了承ください。

【問合せ先】 地域連携室 TEL：06-6441-5451（内線2158）AM9：00～PM5：00（土日祝日を除く）

各種教室

マタニティクラス

問 申 地域医療機構 大阪病院（8階東病棟）
☎ 06-6441-5451（代）

- 開催日／毎月2回水曜日（不定）、第4金曜日、月1回日曜日（不定）
- 時 間／9:30～11:30、13:30～15:30（第4金曜日のみ13:30～15:00）
- 場 所／当院6階 講堂
- 予約制

腎臓病教室

問 地域医療機構 大阪病院（血液浄化センター）
☎ 06-6441-5451（代）

- 時 間／13:30～14:30
 - 場 所／当院6階 会議室2
 - 費 用／無 料
 - 方 法／事前申込不要、直接お越しください。
- *都合により下記の内容に若干変更があるかもしれません。

開催予定月	テーマ	対 象	担 当
5月26日（木）	慢性腎不全の食事療法 春～夏の食事の工夫	主に慢性腎不全患者さん（保存期）	栄養部
6月23日（木）	腎機能が低下しているといわれたら… 慢性腎不全との付き合い方	慢性腎不全の患者さん（Cr2mg/dl 以上）	医師
7月28日（木）	腎臓病と福祉制度（社会保障制度）	保存期、透析導入患者さん	MSW
8月	お休み		
9月29日（木） 4週目が祝日のため 5週目になっています。	慢性腎不全の食事療法（たんぱく制限の工夫） 秋の食事の工夫	主に慢性腎不全患者さん（保存期）	栄養部
10月27日（木）	腎臓を長持ちさせる為に ①慢性腎不全とは ②日常生活で注意すること	主に慢性腎不全患者さん（保存期）	医師

レッツ！糖尿病教室

問 地域医療機構 大阪病院（内科外来）
☎ 06-6441-5451（代）

- 時 間／14:00～16:00（受付は13:40から）
 - 場 所／当院6階 講堂 1
 - 費 用／無 料
 - 方 法／事前申込不要、直接お越しください。
- ※1月と8月は休講

開催日	テーマ	担 当	開催日	テーマ	担 当
5月12日 第2木曜日	糖尿病神経障害って何？ 糖尿病の注射薬について 楽しい旅行にするために～旅行時の注意点～	医師 薬剤師 看護師	9月1日	糖尿病における皮膚疾患 足を守ろう フットケア！！	皮膚科医師 看護師
6月2日	みんなで語り合おう ～カンパセッションマップ～	医師 看護師 管理栄養士	10月6日	糖尿病の眼の合併症 こんなときどうする？ ～備えあれば憂いなし、災害時～ 『お惣菜の利用』のお話	眼科医師 看護師 管理栄養士
7月7日	肥満と糖尿病 『脂肪』のお話 口腔ケアは健康の基本！	医師 管理栄養士 歯科衛生士	11月7日 第1月曜日	糖尿病と動脈硬化性疾患 動脈硬化と関係のある検査 合併症進展予防のための薬	医師 検査技師 薬剤師

心臓病教室

問 地域医療機構 大阪病院（循環器内科外来）
☎ 06-6441-5451（代）

どなたでも自由にご参加いただけます。心臓病との付き合い方を考える勉強会です。狭心症や心筋梗塞、心不全、心血管術後など、病気そのものについてだけでなく、薬や食事、運動についての理解を深め、自分で健康管理できることを目指します。

- 開催日／毎週 月～金曜日のいずれか1回
- 時 間／13:00～14:00
- 場 所／当院2階 心臓リハビリテーション室
- 費 用／無 料
- 方 法／事前申込不要、直接お越しください。

※医師（循環器内科・心臓血管外科・リハビリテーション科）、看護師、運動指導士、薬剤師、栄養士、臨床検査技師が担当します。
※詳細は当院ホームページ、院内掲示をご覧ください。 ※緊急手術などにより予告なく変更・中止することがあります。

禁煙教室

問 地域医療機構 大阪病院（内科外来）
☎ 06-6441-5451（代）

なぜ禁煙が難しいのか、禁煙によるメリット、禁煙成功のコツなどをわかりやすく解説いたします。どなたでも参加できます。禁煙外来を受診されるかたにはあらかじめ受講をおすすめしています。

- 開催日／第4月曜日
- 時 間／13:00～14:00
- 場 所／当院6階 会議室 6
- 費 用／無 料
- 方 法／事前申込不要、直接お越しください。



消化器病懇話会

問 地域医療機構 大阪病院（内科外来）
☎ 06-6441-5451（代）

- 時 間／14:00～16:00
- 費 用／無 料
- 場 所／当院6階 講堂2
- 方 法／事前申込不要、直接お越しください。

※詳細については確定次第、院内に掲示します。

院内の公開講座

対象：医療従事者

院内の公開症例検討会

問 地域医療機構 大阪病院（地域連携室）
☎ 06-6441-5463

名 称	日 時		場 所
乳腺疾患カンファレンス	第1・3水曜日	17:30～19:00	当院6階 会議室2
手の外科診療班症例検討会	第1金曜日	19:00～21:00	当院6階 講堂1
脳卒中カンファレンス	毎週火曜日	17:00～18:30	当院9階東 カンファレンス室
臨床病理検討会（CPC）	毎月最終水曜日	17:30～18:30	当院6階 講堂1

院内でおこなわれる症例検討会であり、緊急手術や学会により中止になることがあります。
開催直前までの1週間以内に地域連携室（TEL 06-6441-5463）にご確認ください。

ケア連携の会

問 地域医療機構 大阪病院（医療福祉相談室：北）
☎ 06-6441-5451（代）

ケア連携のためのネットワークづくり、地域の皆様と共に学ぶ場として事例検討を中心に開催、ケア連携の質向上を目指しています。

- 対 象／訪問看護師、ケアマネジャー、その他医療・介護従事者
- 予約制 ※詳細は各回ごとにご案内いたします。

開 催 日	時 間	内 容	場 所
6月21日（火）	18:00～19:30	事例検討会	当院6階 講堂1・2
9月12日（月）	18:00～19:30	事例検討会	当院6階 講堂1・2
11月22日（火）	18:00～19:30	医療・看護トピックスの情報提供	当院6階 講堂1・2
2月14日（火）	18:00～19:30	事例検討会	当院6階 講堂1・2

公開講演会

問 地域医療機構 大阪病院（看護部教育担当：村上）
☎ 06-6441-5451（代）

新人看護師コアレクチャー（前期の予定）

- フィジカル アセスメント ● 心臓の解剖生理と心電図 ● 麻酔 ● 血液透析
- 糖尿病と血糖コントロール ● 水・電解質バランスと血液ガスデータの見方 他
- 4、5月に計8回（開催予定日はホームページに記載します）
- 場 所／看護専門学校 視聴覚教室
- 時 間／15:30～17:00

新人看護職員研修 受講者募集

研修参加を希望される方は当院ホームページ「新人看護職員研修プログラム」をご覧ください。

外来診療 受付時間

8:30～11:30

(土・日・祝日・年末年始を除く)

初診の方は、「紹介状」をお持ちの上、かかりつけ医の先生から初診予約をしてもらってください。整形外科は紹介状と、予約なしでは受診できません。

一般病棟 面会時間

12:00～21:00 平日(月～金)

10:00～21:00 土・日・祝日

診療科等一覧

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| ● 救急部 | ● リウマチ科 | ● 放射線治療科 |
| ● プライマリケア診療部 | ● スポーツ医学科 | ● 麻酔科 |
| ● 内科 | ● 形成外科 | ● リハビリテーション科 |
| ● 消化器内科 | ● 脳神経外科 | ● 歯科・歯科口腔外科 |
| ● 神経精神科 | ● 心臓血管外科 | ● 病理診断科 |
| ● 神経内科 | ● 皮膚科 | ● 集中治療部 |
| ● 循環器内科 | ● 泌尿器科 | ● 内視鏡センター |
| ● 小児科 | ● 産婦人科 | ● 女性医師外来 |
| ● 外科 | ● 眼科 | ● 女性がん検診 |
| ● 乳腺・内分泌外科 | ● 耳鼻いんこう科 | ● 禁煙外来 |
| ● 整形外科 | ● 放射線診断科 | |

※各科の専門など詳細は <http://osaka.jcho.go.jp/> でご覧になれます。
※診療内容、専門外来に関するお問い合わせは直接各科外来にお願いします。

リウマチ科

問 整形外科外来
TEL (06) 6441-5451 (代)

最新の薬物療法から脊椎・関節手術まで患者さんの状態に応じて幅広く対応しています。
(診療日) **要紹介・予約制**: 初診(月・水曜日)、再診(月・火・水・木・金曜日)

集中治療部 (ICU)

新病院では全室個室になりました。手術後の患者さん(心臓外科や食道摘出などの侵襲の大きな手術や、合併症のある患者さんの手術)、院内で集中治療の必要な患者さん、救急で来院された、心筋梗塞、脳卒中、ショック状態などの救急患者さんが入室します。主治医、ICU専任医、スタッフ、臨床工学士などが協力して重症患者さんを治療します。

救急部

問 TEL (06) 6441-5451 (代)

時間内、時間外を問わず、内科プライマリケア、脳・心血管系救急、一般外傷救急、産科・小児科救急の患者さんを広く受け入れています。
各科医師との連携の上、緊急手術にも対応しています。

内視鏡センター

問 TEL (06) 6441-5451 (代)

消化管の癌やポリープなどの早期発見、早期治療(内視鏡的手術)を目的としています。

申 かかりつけ医の先生からFAX、またはお電話にてご予約後、当日紹介状を持参ください。胃カメラはかかりつけ医の先生のご予約後、直接検査が可能です。

予 FAX (06) 6441-0512 **かかりつけ医の先生専用**

地域医療

病診連携を推進し、地域医療施設とのコミュニケーションを図りつつ、在宅ケア活動を実施しています。

地域連携室 TEL (06) 6441-5451 (内線2158、2159)

患者さんの治療・療養が円滑に施行・継続されるよう、「かかりつけ医」との連携を深めています。

医療福祉相談室 TEL (06) 6441-5451 (内線2140)

患者さん、ご家族の抱えておられる問題点や不安を早期に解決し、在宅療養を支援するため、地域医療機関や訪問看護ステーション、ケアマネージャー等と連携を取り合っています。自宅退院が困難な場合は新たな療養先の紹介も行います。また、医療費の相談や福祉制度のご案内も行っています。

人間ドック・脳ドック・ シルバー半日ドック

問 健康管理センター
TEL (06) 6441-5451 (代)

生活習慣病やがんなどの早期発見・早期治療、発症の予防ならびに健康的な生活をしていただくことを目的としています。二日ドックと一日ドックがあります。75歳以上の高齢の方が、気軽に低料金でご利用いただけるよう、シルバー半日ドックもご用意しています(詳しくは、健康管理センターまでお問い合わせください)。

申 医事課 TEL (06) 6441-5451 (内線 2144)

問 は問い合わせ **申** は申し込み **予** は予約先を表しています



かかりつけ医の先生専用 診療・検査予約先

患者さんからのFAXお申し込みはできません。患者さんはかかりつけ医の先生を通してご予約ください。

地域連携室(診療予約) (受付時間 8:30～19:30)

FAX (06) 6441-0512 TEL (06) 6441-5463 (直通)

予約センター(検査予約) (受付時間 8:30～17:00)

FAX (06) 6459-4599 TEL (06) 6441-5451 (内線2153)

NICU(新生児集中治療室) 問 TEL (06) 6441-5451 (代)

24時間体制で、新生児の集中治療を行い、地域周産期救急医療の一翼を担っています。

産科オープンシステム

かかりつけ医の先生専用

地域の登録医(かかりつけ医)と当院が密接に連携して、当院にて出産を取り扱い、お産の安全性を高めるシステムです。

女性医師外来 問 医事課 TEL (06) 6441-5451 (代)

女性の方は女性医師による診察を受けることができます。

(診療日) 毎週水曜日(受付時間 8:30～11:30)

(診療科) 内科、産婦人科、小児科

(受付窓口) 医事課初診窓口(①番窓口)

なお、女性医師の出張・異動等により、女性医師外来を休診している場合がありますので、ご了承ください。

申 当外来をご希望の女性患者さんは、医事課受付でその旨をお申し付けください。

乳がん検診

問 乳腺・内分泌外科外来
TEL (06) 6441-5451 (内線2319)

乳がんの早期発見にお役立てください。

(検診日) 毎月第4水曜日の午後1:00と3:00、

毎週木曜日の午後4:00

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センターTEL (06) 6441-5451 (内線2153) まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日 午後2:00～5:00)

女性がん検診 問 産婦人科外来 TEL (06) 6441-5451 (内線2322)

女性医師、女性スタッフによる乳がん・子宮がんのセット検診です

(検診日) 毎週月曜日 午後3:30～

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センターTEL (06) 6441-5451 (内線2153) まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日 午後2:00～5:00)



- JR東西線
「新福島駅」下車徒歩約5分
※出口1にはエレベーター、出口2にはエスカレーターがご用意です。
※当院に一番近い出口3には階段しかありません。
- 京阪電車
「中之島駅」下車徒歩5分
- JR環状線
「福島駅」下車徒歩10分
「野田駅」下車徒歩15分
- 阪神電車
「福島駅」下車徒歩10分
- 地下鉄
千日前線「玉川駅」下車徒歩10分
- 市バス
大阪駅前 鶴町四丁目[55]方面
「堂島大橋北詰」下車 すぐ
大阪駅前 西島車庫前[56]方面
「福島西通」下車 徒歩5分
大阪駅前 西島車庫前[56]方面
「大阪福島税務署」下車 徒歩5分
大阪駅前 船津橋[53]方面
「堂島大橋」下車 徒歩5分
- タクシー
「大阪駅」より約10分

大阪府「男女性いきいき・元気宣言」登録事業者／「働きやすい病院」認定病院(第1号)／にっけい子育て支援大賞受賞／女性のチャレンジ支援賞(内閣府)受賞



地域医療支援病院 日本医療機能評価機構認定病院/大阪府がん診療拠点病院

JCHO(ジェイコー)大阪病院 信頼に応える医療

独立行政法人地域医療機能推進機構 (旧 大阪厚生年金病院)

〒553-0003 大阪市福島区福島 4-2-78
TEL (06) 6441-5451 (代表) FAX (06) 6445-8900
<http://osaka.jcho.go.jp/>

この広報誌に対するご意見・ご要望は、当院広報誌委員会宛まで